

1学年だより

西東京市立青嵐中学校
第1学年 学年便り
令和8年2月13日 No.38



スキー教室 作文紹介



「スキー教室」

1年A組 S・A

人生2回目のスキー。1回目ではできなかったスキーを、インストラクターさんが優しく教えてくれた。おかげで、スキーが楽しいと思え、またやりたいな、等のさまざまな感情が高まりました。

最初はすごくこわかったけれど、やってみるとすごく簡単で、すごく楽に滑ることができました。

リフトは初めて乗りました。自分は高いところやジェットコースターも無理で、すごく怖かったのですが、先生や友達と乗ると怖さがだんだん薄れていき、2日目の午後からは、リフトが怖くなくなりました。

ホテルでは朝食・昼食・夕食を、いただきました。お米を何度もお代わりできるところがとても嬉しかったです。ご飯がおいしすぎて、お米がとても進みました。

ホテルの部屋は和室で、畳の上に布団を敷いて寝ました。いつもはベッドで寝るのですが、たまには布団を敷いて寝るのもいいな、と感じました。ですが、下の面が硬かったので、よく眠れませんでした。

寝る前には、恋バナやいろいろな話をして、「スマホがないのってこんなに清々しかったんだ」と感じました。スマホがなくても友達とお話しができて、自分はアウトドア派なので、友達と面と向かって話ができることに関して、嬉しく思いました。

楽しかったスキー教室がこれで終わってしまうことが、とても悲しいです。

「スキー教室の感想」

1年E組 M・M

中学生になって初めての宿泊行事で、思ったことが三つある。

一つ目は、友情だ。理由は、特に今回のスキー教室では、スキーをするために転んでしまったり、板が外れてしまったりすることが、自分の仲間も多かった。そのような時には、落ちないように支えてあげたりなど、助け合ったりして、「仲間って本当にいいな!!」と思ったからだ。

二つ目は、感謝だ。理由は、「スキー教室を楽しんで!」と気持ち良く送り出してくれた両親、スキー技術を優しくわかりやすく教えてくださったインストラクターさん、宿舎でお世話になったスタッフの方々、そして協力してくれた仲間たち…。自分のために多くの人が関わってくれていたと、改めて気づくことができた。

三つ目は、継続だ。初日のスキー講習では、止まることすら難しかったが、最終日には急な坂も滑れるようになった。【継続は力なり】とはこのようなことなのだな、と思った。また、今回のスキー教室の実行委員、講習班の班長をやってみて、実行委員以外、班長以外のみんなも、それぞれに頑張ってくれたおかげで、「実行委員嫌だな…」「班長嫌だな…」などと思うこともなく、気持ちよく仕事をすることができました。

今回のスキー教室は、とても楽しかったです。でもまだ、事後学習や実行委員としての仕事、さらには2年生や3年生としての生活がまだまだあるので、「楽しい!」「最高だ!!」と思えたことを「継続」して頑張っていきたいと思います。

来週の予定 8:25までに席に着きましょう

日にち		予 定
2月16日	月	通常授業①～⑥ 全校朝礼
2月17日	火	通常授業①～⑤ ⑥カット 専門・中央委員会
2月18日	水	通常授業①～⑤ 職員会議
2月19日	木	通常授業①～⑥ わくわく自習室
2月20日	金	通常授業①～⑥

🐼 スキー教室@車山 3日間の思い出 🏂

